

平成29年度 子ども若者はぐくみ局運営の総括表

基本方針・重点方針	平成29年度重点取組					
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等
「はぐくみ文化の創造」に向けた 改革の推進	区役所・支所における「子どもはぐくみ室」の設置 ～子育て支援に関する総合窓口機能とコンシェルジュ機能を担う職員の育成～	マニュアル作成、研修の充実等によりコンシェルジュ機能を担う職員の育成	－	・「子育て支援コンシェルジュ」としての役割を担う「子どもはぐくみ室」を全区役所・支所に設置 ・総合案内機能を担えるよう、統一の「マニュアル」及び子どもや子育て等に係る施策の問い合わせ窓口等を一覧にした「施策一覧」を作成し、各職員に配布 ・9回の研修を実施し、コンシェルジュ機能を担う職員を育成（受講者数214名（出席率90.3%））		子ども家庭支援課
	「京都はぐくみ憲章」の一層の推進	「京都はぐくみ憲章」について、あらゆる施策・分野と次世代育成の観点から連携・融合を図り、日常生活に根ざした実践を広げていくための発信力の強化等	子どもを共に育む 京都市民憲章実践 推進条例	・子どもを共に育む京都市民憲章推進協議会での審議を踏まえた取組の推進 ・平成 29年度行動指針の策定・実践、実践推進者表彰式の開催		はぐくみ創造推進室
	～社会全体で子ども・若者を支える～はぐくみ未来応援事業	子ども・若者を社会全体で支えていく機運の向上	－	・「子ども若者はぐくみ事業基金」の設置 ・はぐくみ未来応援事業基金の周知リーフレットの作成（応援件数195件）		はぐくみ創造推進室
妊娠・出産から子ども・若者まで、切れ目のない支援の推進	産婦健診ホッとサポート	産婦の心身のケアの充実を図る観点から産婦の健康診査費用を助成	京都市未来こどもはぐくみプラン	・5,000円/回を上限に、最大2回まで健診費用の助成を実施（延回数14,410回、助成合計額71,866,275円） ・健診実施医療機関と各区役所・支所子どもはぐくみ室による連携支援（延情報提供件数1,151件）		育成推進課

基本方針・重点方針	平成29年度重点取組					
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等
妊娠・出産から子ども・若者まで、切れ目のない支援の推進	子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）	「地域支援」「出張ひろば」を組み合わせた事業を新たに7箇所で開催	京都市未来こどもはぐくみプラン	・「地域支援」と「出張ひろば」の両方を組み合わせた事業（充実事業）を、新たに7箇所で開催（11箇所→18箇所）		育成推進課
	子どもの居場所づくり支援事業	手引きの作成や、研修会及びアドバイザー事業を実施するとともに、居場所づくりを新たにに取り組む場合に、初期費用の一部を助成	京都市貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画	・子どもの居場所づくりの初期費用の一部を助成する「京都市子どもの居場所づくり支援事業補助金」を開設し、15団体に対し補助を実施 ・子どもの居場所づくりに関する取組の立ち上げや運営についての相談支援や助言を行う「京都市子どもの居場所づくりアドバイザー事業」の創設 ・「京都市子どもの居場所づくりのすゝめ」の発行		子ども家庭支援課
	生活保護世帯等生活困窮世帯の子どもに対する学習支援の充実	「生活保護受給者等中学3年生学習支援プログラム」を全行政区で実施		・拠点を新たに3箇所（上京・右京・伏見）開設し、市内17箇所（全区役所・支所）で実施		子ども家庭支援課
	児童養護施設退所者等支援の充実	施設退所者等を対象とした交流事業の実施、青少年に対する相談機能の強化	京都市未来こどもはぐくみプラン	・327名の児童養護施設等の退所者を対象とした「施設等退所者の生活状況及び支援に関する調査」を実施 ・青少年活動センターを拠点とし相談窓口を設け、交流事業を行う等の支援事業を実施 ・退所者自身が、退所後の社会生活を送るうえで必要な知識等を入所中から身につけるためのハンドブック「船出のためのナビ」を発行		子ども家庭支援課
	放課後等デイサービス運営補助等事業	重症心身障害児の受入れ人数に応じた運営補助制度を充実し、当該事業者の設置促進や体制整備を図る	—	・主に重症心身障害児を通わせる放課後等デイサービス3施設に対し、重症心身障害児の受入れ人数に応じた運営補助を実施（受入延人数3,821人、補助額4,203,100円）		子ども家庭支援課

基本方針・重点方針	平成29年度重点取組					
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等
妊娠・出産から子ども・若者まで、切れ目のない支援の推進	自立支援教育訓練給付金事業の対象拡充	雇用保険法の一般教育訓練給付の支給を受けるひとり親家庭の親について対象に追加	—	・雇用保険法の一般教育訓練給付を受けるひとり親家庭の親を対象に追加		子ども家庭支援課
	施設等職員の処遇改善	国の「ニッポン一億総活躍プラン」を踏まえた、処遇改善を実施	—	・児童館・学童クラブ事業に係る職員、児童養護施設等職員及び障害児通所施設等職員について、国の「ニッポン一億総活躍プラン」を踏まえた、処遇改善を実施		育成推進課、子ども家庭支援課
全国トップクラスの幼児教育・保育の更なる推進	保育所待機児童の解消	民間保育所等整備助成による受入枠の拡大（1,010人分）及び小規模保育整備助成による受入枠の拡大（71	—	・保育所等の新設11箇所、増改築等16箇所及び小規模保育事業等の10箇所の整備により、1,237人分の児童受入枠を拡大		幼保総合支援室
	緊急待機児童対策事業	1歳児及び3歳児を中心に受入枠を増やした施設への助成	京都市未来こどもはぐくみプラン	・民間保育園及び認定こども園において、1歳児及び3歳児を中心に受入枠を拡充した施設や年度途中入所の受入れ施設を対象に助成 平成29年4月受入枠拡充 138箇所 462人分 平成29年度途中入所受入 44箇所 56人分		幼保総合支援室
	保育士等の処遇改善	国の「ニッポン一億総活躍プラン」を踏まえ、保育士等の処遇改善の更なる充実		・民間保育園及び認定こども園の95%（238箇所）をはじめ、民間保育施設におけるキャリアアップの仕組みに応じた賃金改善を実施		幼保総合支援室
	一時預かり事業	実施箇所数の拡充（1箇所増）・受入枠の確保		・新たに1箇所を実施（計55箇所）し、受入枠を拡充		幼保総合支援室
	病児・病後児保育事業	受入れ枠の拡充		・6箇所を実施（うち5箇所は病児・病後児併設型、1箇所は病後児型） ・平成29年7月から、病児・病後児併設型の既存施設1箇所での定員を増やし受入枠を3名増		幼保総合支援室

基本方針・重点方針	平成29年度重点取組					
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等
全国トップクラスの幼児教育・保育の更なる推進	保育士宿舎借り上げ支援事業	遠隔地出身の保育士の宿舎借り上げ費用を支援	京都市未来こどもはぐくみプラン	・民間保育園及び認定こども園に対し、遠隔地出身の常勤保育士の宿舎借り上げ費用を支援（5箇園7人分）		幼保総合支援室
	学生や潜在保育士等に対する保育の魅力発信キャンペーン	保育士養成校の学生や潜在保育士に対して保育の魅力を発信		・キャンペーン特設サイトの開設 ・ビッグデータを活用したWeb広告の実施 ・保育士と学生による保育の魅力発見！大交流会の開催 ・保育士になろう！応援しよう！SNSキャンペーンの実施		幼保総合支援室
	私立幼稚園等特色ある幼稚園推進事業補助	親子登園事業の実施に対する補助制度を創設		・私立幼稚園等の地域での子育て支援機能充実と教育実践の発信のため、新たに満3歳未満児を対象とした親子登園事業の実施に対する補助を実施（実支給園数70園）		幼保総合支援室